



賀茂高等学校 同窓会 会誌 vol.7

平成27年12月25日発行

賀茂高等学校
同窓会事務局

東広島市西条西本町16-22
TEL(082)423-2559

URL
<http://www.kamo-h.hiroshima-c.ed.jp/>
email : k_aoi20149@royal.ocn.ne.jp

「賀茂高校の 今までとこれから」

校長 松井 太



グローバル化が進む今、世界の多様性や相互の緊密な関係に目を向けることと、地域の持続的な繁栄のために取組むことが、ますます表裏一体となつて、現在とこれからの生徒たちに課せられています。

賀茂高校の重要な使命は、賀茂台地のリーダーを育てること、学術等の面で中四国の中核となる大きな可能性を持つこの場所で、これまで以上にそのことが問われてくると思います。広島市の郊外機能だけでは、この地域を持続発展させることには限界があります。他所にない物・事の良さに気付き、育てていく気風が賀茂高校の生徒に育つてほしいと思つています。

教育現場では、すぐに答えの出ない問いを立て、その解決に向けて様々な人（文化を異にする人も含め）と一緒に取組む力、その基礎となる知識・技能、思考力・判断力・表現力をつけていくことがますます重要視されています。本校は今年度広島県教育委員会から「活用コアスクール」に指定され、学んだことを活用する場面で、このような力をつける授業をいかに設計するか、日夜生徒と教員が一体となつて取組んでいるところ です。

(以下8頁に続く)

同窓会活動への 積極参加を

同窓会会長 木本 厚
(昭和40年卒)



8月の総会において、黒川前会長の後継として要請を受け、会長を務めさせていただきます。木本です。

母校賀茂高校は1906年(明治39年)に創設され、現在では約2万余の卒業生を数えるまでになりました。

一世紀を超える歴史と伝統ある学び舎で青春時代を文武両道にいそしまれた会員の皆様、お互いの絆をさらに深め母校の伝統を守り、次の世代へ橋渡しをしていただきますことをお願いするものであります。

同窓会といたしましても、現在社会の様々な分野で活躍されている諸先輩の方々と、それに続く後輩の皆様が親しく語り合い、互いに高め合えるしかも心のよりどころとな

るような同窓会をめざしてまいります。微力ではございますが、母校に誇りを持ち校是である「信・敬・愛」を心に全力で取り組む覚悟でございます。どうか皆様におかれましては同窓会活動への積極的参加を心よりお願い申し上げます。

終わりに、同窓会に多大なご貢献をいただき、今回役員を去られた皆様方に感謝申し上げますとともに、母校の発展並びに同窓会のみならずの繁栄と会員皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして就任のご挨拶とさせていただきます。

本校は平成27年6月で、創立から110年目に入りました。皆様方をはじめ、多くの優れた人材を、地域・国内外に輩出してまいりましたが、特に、

賀茂高校は 創立110周年を迎えます

第63回(平成28年度) 賀茂高校同窓会総会 ・懇親会のお知らせ

日時

平成28年8月7日(日)
10:30 受付開始
11:00 開会

場所

グランラセーレ東広島

会費

6,000円

当番幹事

S 42年・52年・62年
H 7年・17年卒

お問い合わせ

賀茂高校 同窓会事務局

同窓会総会・懇親会が 盛大に開催されました



開催日:平成27年8月2日(日)
開催場所:グランラッセ東広島 2F 平安の間
142名が参加し、盛大に開催しました。今年は昭和41年、51年、61年、平成6年、16年卒業の皆さんに幹事をお願いしました。今後とも、多くの皆さんのご出席をお待ちしています。



恩師は今…

短歌を作りつづけています

広島市東区在住

昭和40年〜50年まで賀茂高校に勤務

現代国語 三原 豪之



長月のある日懐かしい人から電話があった。同窓生の三宅達士君が近況を報告せよと言う。十年間に亘ってお世話になった賀茂高校の同窓会の会報に載せたいと言う。穏やかに優しい三宅君の依頼を断るわけにはいかなく、同時に、賀茂高校と聞いて懐かしく嬉しく内心弾むような思いさえあってお引き受けしました。

卒業アルバムを繰りながら「光陰矢の如し」ということを実感しています。今年で七十八歳になりますが、まだ短歌（五、七、五、七、七の短詩型文学）を作りつづけています。七十人余りの会員の短歌グループ（歌誌は年四回発行）の世話をさせていただきながら、広島

県歌人協会の幹事として役員会にも出かけています。またカルチャーセンターの短歌講師（NHK広島文化センターと中国新聞文化センター）をしていて今のところ呆ける暇がありません。カルチャーセンターの受講生は、二つのセンターを合わせて約四十人で、月三首の歌を出していただき、添削しています。時には歌会形式で、相互批評をし各人の鑑賞力、批評力の向上を図っています。大変和やかで楽しい会で月二回の会を皆さんは楽しみにしておられます（実は会のあとのお喋りや会が終わってからの買い物を楽しみにしておられるのかも知れませんが）。作歌を始めて四十年以上経ちますが、現役を退いても誰かのお役に立てることに感謝しています。



この年になると体に不調をきたし、週に二回は整形外科に通って、電気治療や筋肉トレーニングをしています。また散歩（運動と歌作りを兼ねて）を心がけていますが、なかなか思うに任せません。最後になりましたが、同窓生の皆さんのご健勝をお祈り致します。

活躍する同窓生

東広島市の農業・地域を牽引する7人のOB

東広島市の農村部では、高齢化による担い手不足や耕作放棄地が増加し、地域環境の保全が課題となるとともに、抜本的に農業経営を見直すため、農機具の過剰投資を避け地域の資源を集中できる農業法人化が進んでいます。この改革の先導役が重兼農場で県内最初の法人化でした。その後県・市は農業改革は法人化で推進することを施策の中心に据え、

県農業会議・JAなどを通じて啓発活動を強化しました。こうした動きを経て、次々に法人化が進み、現在では29法人となっています。県全体で255法人であり東広島地域が真剣に取り組んできたことがうかがえ、賀茂高校の人脈が大きき力となったものです。

今後は、地域を守り農業振興を図るため、一層のコスト削減と他地域に打ち勝つブランドづくりが求められることから、集落法人連絡協議会などを活用して情報収集、実行していく考えです。賀茂高校OBが代表理事などを務める法人は左記のとおりです。



右から 三好、吉郷、小池、窪田、本山、高木、沖田、木本

○東広島市集落法人連絡協議会

会長・(農)ファーム志和理事・県議	高木 昭夫	S45年卒
-------------------	-------	-------

○農事組合法人

名称	代表理事	賀茂高校
(農)重兼農場	本山 博文	S33年卒
(農)志和堀恵び寿	沖田 堅司	S33年卒
(農)ファーム西田口	小池智慧登	S35年卒
(農)かみみなが	吉郷 陸彌	S36年卒
(農)いなき	三好 伸光	S36年卒
(農)ファームたかはち	窪田 恒治	S45年卒



江戸末期の古民家を再生

東広島市在住
久保西小児科・内科クリニック
昭和40年卒 久保西一郎

同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。昭和40年卒業の久保西です。旧姓は室津で、20歳の時に母方の姓に変わりました。大学を卒業して、岡山、米國、高知で勤務し、平成11年、帰郷しました。

江戸末期に建てられた、藁葺の母家が崩れそうでしたので、約10年前にリフォームしました。幸い土台以外の梁や柱は元の物を残すことができました。とり

わけ、梁は力強い構造で、天井を取り外し、屋根の木組みもそのまま残して、茅で葺き替えました。大正5年に撮られた我が家の写真を参考に茅葺の屋根の形を整えてもらいました。

角川春樹さんの俳句に富士のご自身の生家を歌ったものがあります。

降る雪や 祖霊を宿す 蔵の梁

私も、黒光りする大きな梁を見上げるたびに、ご先祖様が見守ってくださっているような気がしています。維持は大変ですが、この生家を次の世代にバトナタッチしたいと思っています。

東広島市庁舎 建築に携わる

大阪府在住
アルテス関西事務所 一級建築士
昭和55年卒 渡邊 誠司



賀茂高校時代は、バスケット部に所属しておりました。クラ

ブ活動も学業についても、決して真面目とは言える状況ではありませんでしたが、クラブ活動で培った体力は今の仕事に生かされていると思っております。

大学卒業後、大阪の建築構造設計事務所にて就職いたしました。大阪を中心に西日本各地の物件の構造設計を行っています。広島では入社5年目に広島ワシントンホテル（現広島オリエンタルホテル）の構造評定をはじめ、広島市水道局庁舎、広島工業大学付属高校の体育館などの物件を手がけさせていただき、直近では縁あって、元請事務所よりお声掛けをいただき、東広島市庁舎の地震振動解析および免震装置の設計業務にも携わることもできました。現在は別事務所で建築構造設計業務を行っておりますが、自然、環境に新素材にと、まだまだ習得すべきことも多く、日々悪戦苦闘しながら、更なる向上心をもって、物件に向かっている毎日です。



広島の競泳界を強くしたい

広島大学学生
平成25年卒 原 美波

賀茂高校を卒業して2年半経ちました。高校時代は苦しむことも多くありましたが、「頑張ることはかっこいい」という合言葉の元、全力で駆け抜けた青春時代を賀茂高校で過ごせたことは今も誇りに思っています。私は、今広島大学教育学部・健康スポーツ系コースに在籍しております。今年は、9月にインカレ、国体、教育実習があり、とても多忙なスケジュールでしたが、インカレでは目標にしていた決勝に進むことができ、教育実習では教材研究や、指導案作成に追われ、精神的にも身体的にもかなり辛いものでしたが、悩んだ分、自分を成長させることができましたのではないかと感じています。

さて、私は大学に進学する際、広島に残ると決めた理由の一つとして、中学や高校のとき、自分が憧れていた先輩方から学んだたくさんのお話を私が引き継ぎ、地元広島に残って後輩に伝えていき、広島県の競泳を強く



したいと思ったからです。今年の8月には、競泳競技の国体内定者による合宿で、グアムに行かせていただきました。合宿の前で話す機会があり、そこでは礼儀や、県の代表として出場する際の心構え、試合に向けてどのように精神面をコントロールするかなどについて、自分の経験も含めて伝えることができ、今回の合宿だけでなく、普段の大会などでも小中高生になるべく声をかけ、アドバイスをしています。このような形で少しでも、広島県の競泳界に貢献することができ、地元広島に残ってよかったなと感じています。

私の大学生活は、高校時代と変わらず、勉強と水泳に追われ悩むことも多い毎日ですが、とても充実しています。今自分がしなければならぬことは何なのか、したいことは何なのかを考えながら、自分の道を切り開いていきたいと思っています。

同期会・ クラス会・支部会 だより

昭和41年卒同期会(8月2日)



グランラッセレ東広島で開催された「第62回賀茂高等学校同窓会総会・懇親会」終了後、同じ階にある「ペイサージュ」で同期会を実施しました。

高校卒業後、50年ぶりに再会した者もあり、約1時間半の短い時間でしたが、テーブルを移り変わりながら、当時の思い出話や現況を尋ねたりと、あっという間に時間が経過しました。またの再会を誓い合い、集合写真を撮って解散しました。(代表 桧高健次)

昭和55年卒同期会(8月9日)

高校卒業から35年、初めての同期会を8月9日(日)、西条HAKUWAホテルにて開催しました。恩師である鳴尾善彦先生、寺谷(古田)博之先生、荻八州夫先生をお迎えし、総勢108人の笑顔いっぱい集いとなりました。現在50代半ば、「まだまだこれから」と仕事に地域活動に家庭に、それぞれの場所でご活躍の力をいただきました。次回、5年後の再会を誓い閉会しました。

(代表 菅田尚紀)



賀茂高等女学校(10月21日)

毎年10月21日を、同窓会開催日と決め、グランヴィアホテル21Fにて会食、交流を深めると共に、楽しい時をすごしています。今年は昭和21年、22年、23年の卒業生19名が、参加しました。(代表 高橋繁子)

昭和40年卒同期会(10月30日)



深まりゆく秋のよい季節に、今年もまた同期会を開催することができました。新橋駅前のSL広場で待ち合わせ、秋晴れの暖かい陽を浴びながら銀座中央通りをぶらつき、7丁目のイタリアンの店に辿り着きました。そこで、皆の元気な乾杯の音が響き渡り旧交を温める宴が始まりました。美味しい料理を食べ、ビールを飲みながら、気分は高校時代に戻って、和気あいあいといろいろな話に花が咲いていました。その後、カフェ・バーの店に移り、店内ショップのワインも持ち込み可で、ほろ酔いになりながら楽しい語り合いが続きました。やがて、宵も訪れ、名残りおしき中で再会を期して散会となりました。(代表 吉弘正信)

創立百周年記念のピアノ活躍



2005年の創立百周年記念事業で購入したピアノが在校生に使用されています。

世界的な名器スタインウェイで、音楽大学や児童教育をめざす在校生が練習しています。

今年度の広島県ハイスクールミュージックコンサートで優秀賞を受賞した山本彩菜さん(2年)も、「音色の深みや広がり」ががう。こんなに素晴らしいピアノを弾くことができて本当にうれしい」と感謝しています。

同窓会員の皆様で弾いてみたい方は学校まで御連絡ください。

(事務局)



研修旅行で先輩たちと交流

今年度の2年生の関東方面への研修旅行の途中の10月15日午前、東京・浅草ビューホテルに4名の先輩たちに来て頂き、お話を聞く機会を設けました。東京での学生生活や職場のことを、失敗の体験も交えて率直に語ってくださいました。東京の大学をめざした理由や受験勉強の方法、社会人としての心構え、職場で求められる力などについてのお話は、自分の将来に迷いや不安をもった生徒の心に響くものでした。「目標から逆算する」「失敗を恐れるな」「変化をつくりだせ」などのアドバイスを生徒たちはメモをとりながら真剣に聞きました。「大都会で先輩に会えるなんて」「お話が励みになった」「進路選択の参考になった」といった喜びの感想が多く寄せられました。

後輩のために駆けつけてくださった同窓会関東支部の藤瀬活子さんをはじめ、パネラーの皆さん、ありがとうございました。

(2年生 代表)



有村 瑞穂

(東京学芸大学 平成25年卒)

吉村竜太郎

(東京外国語大学 平成23年卒)

森田 裕士

(株式会社エクス 平成12年卒)

田中 高志

(株式会社ミクシイ 平成12年卒)

の4名(敬称略)です。



賀茂高校の近況



平成27年度 部活動の紹介

～ご支援ありがとうございました～

〈中国大会出場〉

- 5月 女子ハンドボール (周南市)
- 6月 アーチERY 男子団体、女子個人 (鳥取県琴浦町)
- 7月 陸上部 やり投げ 男子1名 (出雲市)
- 7月 水泳部 男子2名 (広島市)
- 7月 男子ソフトテニス 1ペア (備前市)
- 8月 吹奏楽部 小編成の部銀賞 (広島市)
- 10月 (新人戦) 陸上部 1500m走 2位 横山裕介 (2年) (米子市)
- 11月 (新人戦) 水泳部 男子3名 (山口きらら)
- 11月 (新人戦) 弓道部 男子団体 (出雲市)

〈インターハイ出場〉

- 8月 水泳部 中原 誠 50m自由形 (京都市)



インターハイ 中原 誠 (2年)



第56回全日本吹奏楽コンクール中国大会

平成27年卒業生の進路実績

(合格者数)

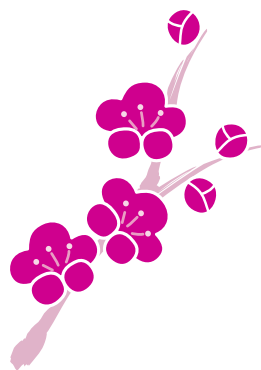
国立大学	現役
広島大学	11
岡山大学	2
愛媛大学	10
山口大学	4
香川大学	1
京都工芸繊維大学	1
合計	29

私立大学(広島県外)	現役
立命館大学	4
國學院大学	3
岐阜医療薬科大学	3
明治大学	1
その他	38
合計	49

公立大学	現役
県立広島大学	9
広島市立大学	4
福山市立大学	3
尾道市立大学	4
その他(県外)	6
合計	26

短大・専門学校・就職	現役
比治山大学短期大学部	4
安田女子短期大学	6
呉医療センター附属呉看護学校	9
公務員(自衛官、警察官、税務、行政)	6
合計	25

私立大学(広島県内)	現役
広島経済大学	17
近畿大学(工学部)	31
広島修道大学	81
広島女学院大学	27
安田女子大学	47
広島国際大学	29
その他	52
合計	284



賀茂高校の国際交流

2学年生徒が英語と笑顔でおもてなしをしました。お互いの文化や学校生活についての話で盛り上がりました。



5月27日(水)
台湾から永豊高校生徒46名来校
〈永豊高校生徒さんのご挨拶〉



9月18日(金)
オーストラリアのジローン高校
生徒21名
〈グループで談話〉

(1頁から続く)

忘れてならないのは、校是に
あります「敬」、日本人が従来大
切にしてきた人に対する「敬」、
学びに対する「敬」、自然・故郷・
伝統に対する「敬」。この「敬」
という言葉の意味がますます重
くなるのだと考えています。

先日、研修旅行の最中、関東
同窓会の若い先輩4名から、学
業や進路についてアドバイスを
受ける貴重な機会をいただきました。
同窓生の存在の大きさ、
ありがたさを生徒自身が感じて
くれたことでしょう。100
周年に寄贈していただいた
STEINWAYのピアノも、
毎日のように美しい音色を奏で
ています。

この素晴らしい先輩たちが
培った温かい校風の下、地元率
の極めて高い本校での高校時代
に「賀茂台地の絆」をしっか
り深めてほしいと思っていま
す。ここに集う生徒たちが、絆
を温めつつ、今後の100年
の賀茂台地の持続発展に確か
な足跡を残してくれるよう、
賀茂高校は、100年の誇
り「CENTENNIAL
PRIDE」を胸に毎日少しづ
つですが前進しています。同窓
生の皆様には今後ともどうかご
理解とご声援をよろしくお願
いいたします。

「かもあおい」の発行方法について

同窓会誌「かもあおい」も本年で7号となります。この会誌の発行は皆様の協
力金で運営しております。1回発行するに当たり150万円程度費用が掛かります。
協力金は昨年度の例で申し上げますと、110万円程度で差引約40万円が不足してい
る状況です。ここ2年赤字で、抜本的な解決策が必要と考えております。

今回も協力金の振込用紙を同封しております。

協力金（1口 2,000円以上）は毎年、納入していただきたいと思っておりますので
よろしくお願いたします。

利便性を考え今回からコンビニでも払い込み出来るようにしました。

次回発行分から有料名刺広告を掲載することとしたいと思っております。希望の方
は、事務局、役員に御連絡下さい。掲載料は5,000円～10,000円を予定しています。

「かもあおい」の継続発行のためには、協力金への地道な要請が必要だと思
います。先輩、後輩の皆様へ声掛けをお願いします。

同期会・支部会等の 支援金について

賀茂高校同窓生の同期会や支部会等を開催する時は、事務局から支援金
として1万円を交付します。これから同期会・支部会・同窓生職場会等
予定されている場合は事務局にお問い合わせください。



賀茂高等学校

関東支部同窓会の案内

日時 2016年2月11日(木) 13時～
場所 広島ブランドショップ
TAU(たう) 3F

編集後記

春夏秋冬の四季には色があると善人
先生から学びました。春は青、夏は赤
(朱)、秋は白、冬は黒(玄)であると。
春といえば桜のピンクを想像される
人が多いと思いますが、青春の春で青
なのです。

夏といえば青い海、青い空を思い浮
かべる人が多いかと思いますが、実は
太陽の赤(朱)が夏色なのです。
秋は紅葉の赤を思い浮かべる人が多
いかと思いますが、秋はなんと白なの
です。北原白秋もこの秋の白を選んで
いるのです。

冬は雪の白ではなく実は黒(玄)な
のです。中国の五行説で黒色を冬に配
することから冬の色が決まったよう
です。

青春、朱夏、白秋、玄冬は全て中国
の五行説から来ています。
玄冬の晦日、皆さま良い年をお迎え
ください。

同窓会事務局